

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中小田井

目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	○思いや意向の把握 その方らしい生活を送るために、それを提供するためのケース担当が運転できないなど技術的な問題点と、相性の問題点がある。	その方らしく生活していただく。	ケース担当を2人制にして、サービス提供に対しての得手不得手を補う。マッチングを進めていき、よりよい組み合わせを模索していく。	3ヶ月
2	37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 自己決定が出来る方に対しても、職員目線で我慢させてしまったり自己決定を支援できていない時がある。	まずは思いに耳を傾け、その希望に沿えるように行動を心掛ける。	例えば付き添いが必須な方で居室へ行きたい希望があった時、何時ならできるのか。あと何分くらいでできるのかを伝えて後々有言実行するように周知する。後に振り返りを行なう。	3ヶ月
3	27	○個別の記録と実践への反映 共有した情報を介護計画に活かすことができていない。	再度介護計画の周知をし、実践できているのか。またそれを活かして新たな目標を掲げていく。	計画作成担当者とモニタリング結果をみて随時見直しを行なっていく半年に1回から実施していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。